



8月7日 個人投資家向け会社説明ウェビナー

開始 19 : 00
終了 20 : 00 (予定)

開始までしばらくお待ちください

株式会社アートネイチャー
東証スタンダード : 7823

今回の「logmi IR Live」にてお伝えしたい点

- ・ 7/30に、2026年3月期第1四半期決算を発表
オーダーメイドウィッグの納期が延伸したことにより
1Q売上高は減収であるが、2Qは納品が進捗する見込みであり、
中間期は当初計画どおりの着地となる見込み
- ・ 新たな株主還元施策として**株主優待制度の新設**を発表

2026年3月期 第1四半期決算概況

株式会社アートネイチャー

第1四半期は、前年同期比減収減益

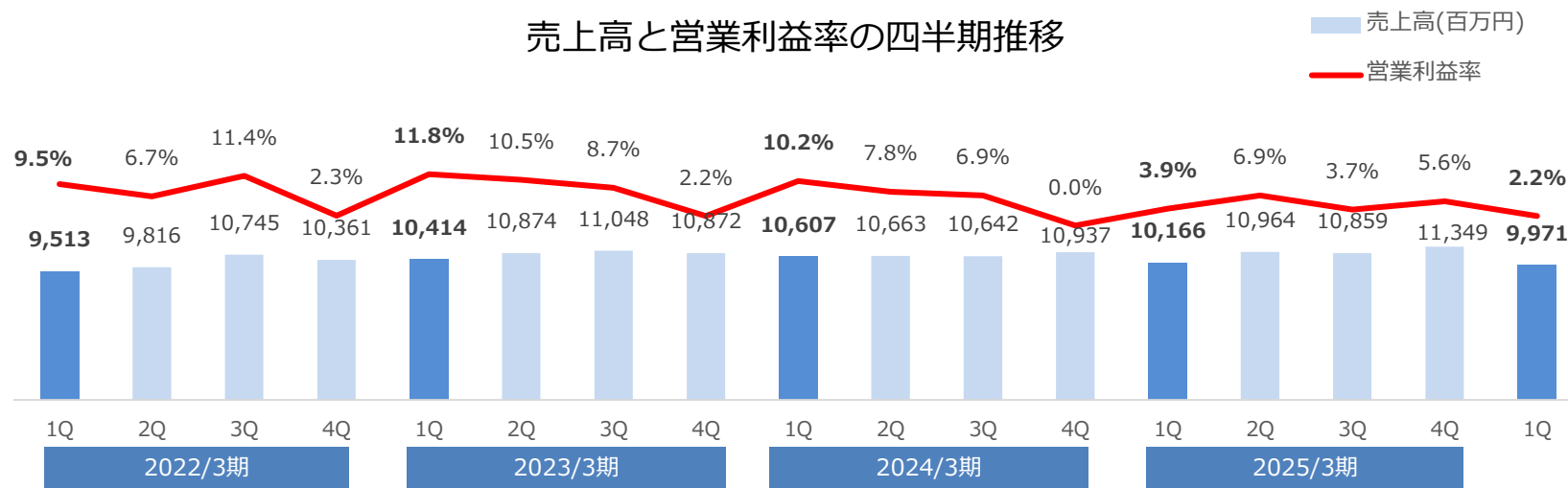
第1四半期決算実績

(単位:百万円)

	25/3期実績	26/3期実績	前年同期比	通期計画	進捗率 (対計画)
売上高	10,166	9,971	▲1.9%	47,623	20.9%
メンズ	5,246	5,062	▲3.5%	23,495	21.5%
レディース	4,575	4,579	+0.1%	20,869	21.9%
その他	344	329	▲4.5%	3,258	10.1%
営業利益	391	214	▲45.2%	2,778	7.7%

※レディースにジュリア・オージェ、ナオアート社を含む

売上高と営業利益率の四半期推移



第1四半期は、売上高の減少を主因に前年同期比減収減益

(単位：百万円)

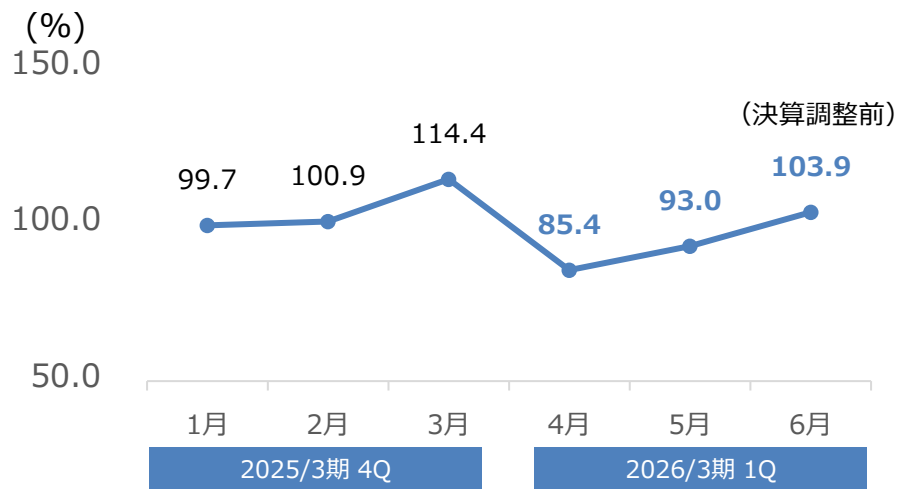
	2025年3月期 第1四半期		2026年3月期 第1四半期		増減率
	2024年 4月～6月	売上比	2025年 4月～6月	売上比	前年同期比
売上高	10,166	-	① 9,971	-	▲1.9%
売上原価	3,548	34.9%	② 3,483	34.9%	▲1.8%
売上総利益	6,618	65.1%	6,488	65.1%	▲2.0%
販管費	6,226	61.2%	③ 6,273	62.9%	+0.7%
広告費	1,420	14.0%	1,311	13.2%	▲7.7%
人件費	1,635	16.1%	1,635	16.4%	+0.0%
営業利益	391	3.9%	④ 214	2.2%	▲45.2%
経常利益	398	3.9%	242	2.4%	▲39.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	201	2.0%	120	1.2%	▲40.0%

変動要因

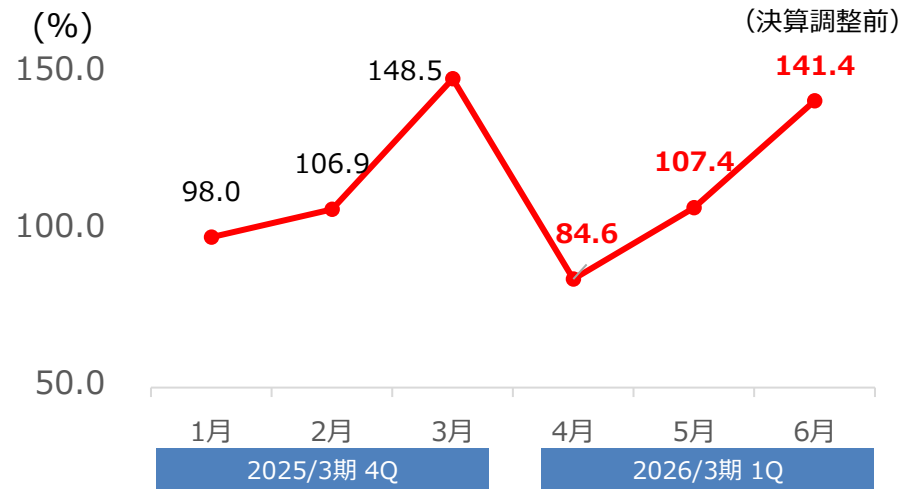
- ・売上高
男性向け ▲3.5%
女性向け +0.1%
- ・売上原価率
34.9% → 34.9%
商品原価率 ▲0.7P
タリタ人件費率 +0.7P
- ・販管費率
61.2% → 62.9%
広告費率 ▲0.8P
人件費率 +0.3P
その他率 +2.2P

オーダーメイドウィッグにおいて男女共に納期の延伸が生じ、前年同期比減収

男性主要商品売上高の月次推移（前年同月比）

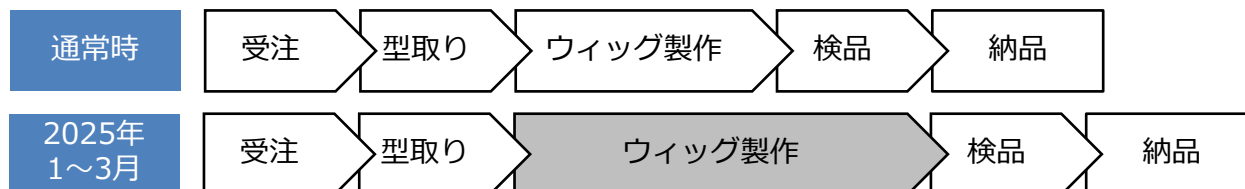


女性主要商品売上高の月次推移（前年同月比）



納期が延伸した理由

前期4Qは、24年11月の台風影響等によりフィリピン自社工場委託先の稼働率が低下し、製造期間が通常よりも伸びた。これにより今期1Qの納品が前年と比べて減少している
(現在は通常稼働しており、5月、6月と月を追うごとに順調に納品が進捗している)



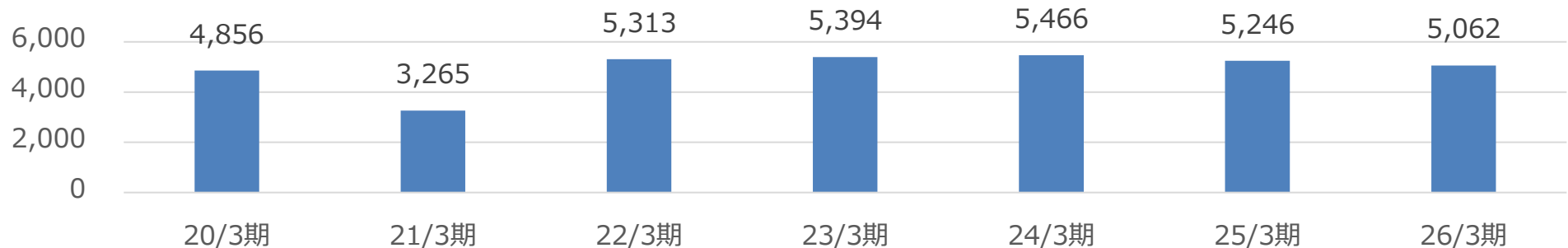
1Qはオーダーメイドウィッグ売上高の減少により前年同期比減収。

（単位：百万円）

売上高		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率
オーダーメイドウィッグ	新規	186	122	▲64	▲34.3%
	リピート	2,830	2,721	▲109	▲3.9%
	合計	3,017	2,844	▲173	▲5.7%

全商品・サービス	新規	328	292	▲35	▲10.9%
	リピート	4,918	4,770	▲147	▲3.0%
	合計	5,246	5,062	▲183	▲3.5%

1Q売上高の推移（単位：百万円）



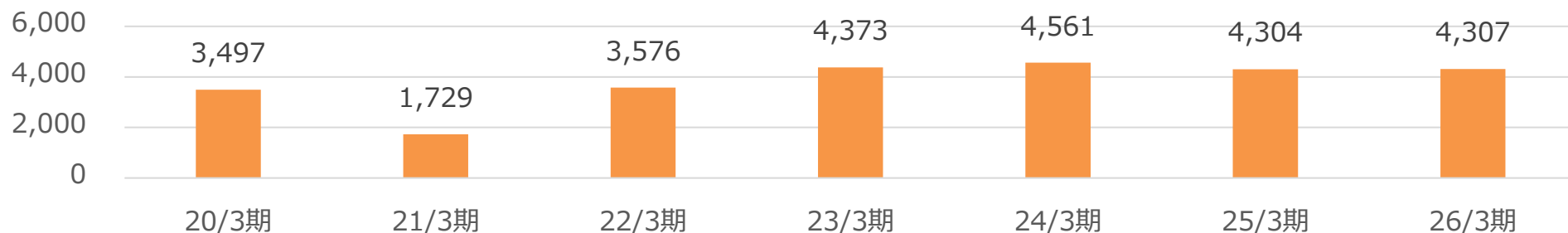
1Qはオーダーメイドウィッグ売上高が減少の一方で、ジュリア・オージェは堅調に推移。
売上合計は、前年同期並みの着地となった。

（単位：百万円）

売上高		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	増減率
オーダーメイドウィッグ	新規	913	919	+5	+0.6%
	リピート	1,267	1,168	▲98	▲7.8%
	合計	2,181	2,087	▲93	▲4.3%

全商品・サービス	新規	934	937	+3	+0.4%
	リピート	2,336	2,276	▲60	▲2.6%
	ジュリア・オージェ	1,033	1,093	+59	+5.8%
	合計	4,304	4,307	+2	+0.1%

1Q売上高の推移（単位：百万円）



メンズ

6月よりWEB広告閲覧者に向けたLINE活用施策をスタート
従来の反響営業とは異なる接触手段で資料数増加を目指す

2024年7月にリリースした独自チャットAI「HAIRの部屋」を
6月リニューアル。会話率向上、問合せ資料数増加を目指す



レディース

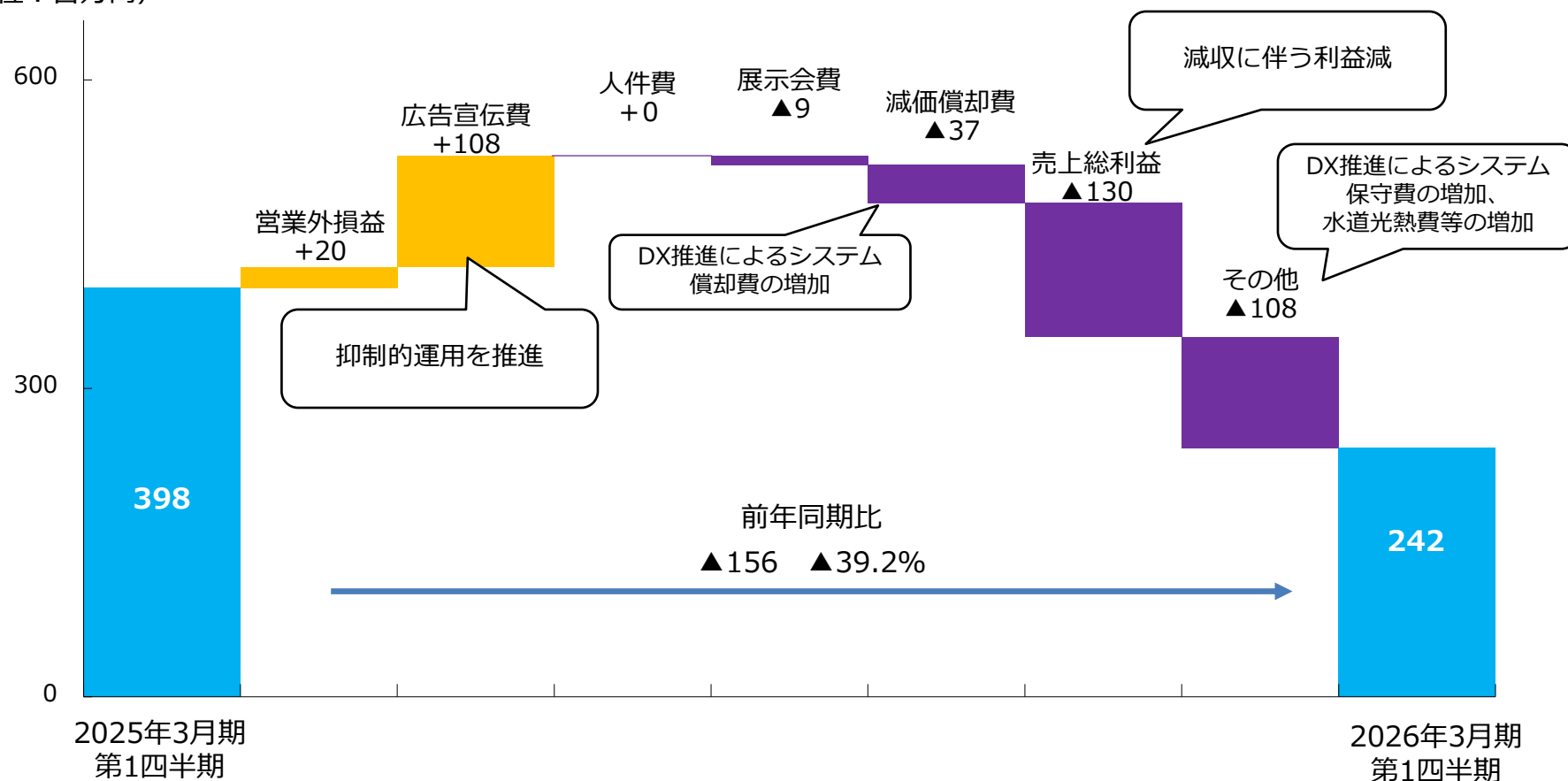
6月より資料請求のお問合せへの即時対応の実現と
印刷・発送費用の削減を目的とした電子カタログを導入

7月25日より、そごう横浜店1階ビューティーフロアにて
アートネイチャー・オンラインショップ特別販売イベントを
期間限定で開催。



広告宣伝費は抑制できたが、売上総利益の減少により減益

(単位：百万円)



1Q売上高の減収により、全体的に通期計画に対しやや遅れて進捗

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期実績	2026年3月期 通期計画	進捗率 (対通期)
売上高	9,971	47,623	20.9%
メンズ	5,062	23,495	21.5%
レディース	4,579	20,869	21.9%
その他	329	3,258	10.1%
売上原価	3,483	16,154	21.6%
売上総利益	6,488	31,468	20.6%
販管費	6,273	28,690	21.9%
広告費	1,311	6,187	21.2%
人件費	1,635	6,967	23.5%
営業利益	214	2,778	7.7%
経常利益	242	2,844	8.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	120	1,464	8.2%

1Qはオーダーメイドウィッグの納期が延伸したが、2Qは納品が進捗する見込みであり、中間期は当初計画どおりの着地となる見込み

1Qは計画内の使用にて着地しており、中間期は当初計画内での着地となる見込み

【その他】特設サイト「アートネイチャー・プレミアム優待倶楽部」の公開は2025年11月上旬を予定
他社優待ポイントとの合算利用も可能

保有株式数	進呈ポイント
700株～799株	3,000ポイント
800株～899株	4,000ポイント
900株～999株	5,000ポイント
1,000株～1,999株	6,000ポイント
2,000株～2,999株	20,000ポイント
3,000株以上	30,000ポイント

動画による事業等のご紹介

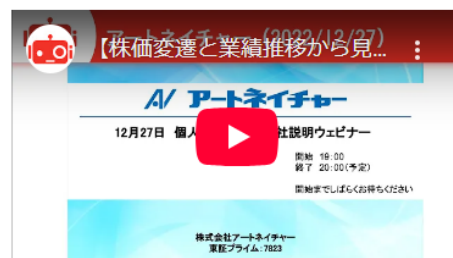
オンラインセミナーなどで事業や決算概要をご説明しています

事業概要 2025年3月時点 (45分)



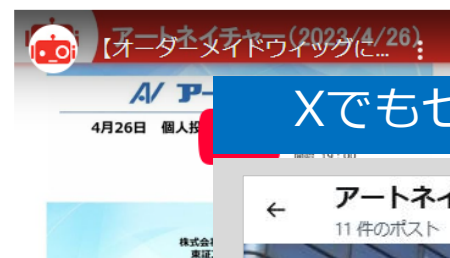
- 01 : 15 会社概要・事業の特徴
- 23 : 40 競争優位性
- 28 : 40 中期経営計画
通期業績見通し
- 37 : 30 株主還元
- 38 : 40 質疑応答

株価の変遷と業績 (50分)



- 02 : 13 直近10年間の株価推移と業績
- 07 : 46 直近10年間の市場動向
- 10 : 50 直近10年間の市場動向と業績
- 30 : 31 質疑応答

ウィッグについて (60分)



- 03 : 55 オーダー
- 30 : 47 オーダー
可能性
- 41 : 43 まとめ
- 43 : 00 質疑応答

QRはコチラ



Xでもセミナー情報等を公開中



Q&A

質問	回答
今期は増収増益計画のところ、第1四半期は減収減益だったが、下方修正しなくて大丈夫なのか？前期を上回ってくるのはどのくらいの時期だと考えているか。	1Qの減収要因である自社工場が現在通常に稼働しておりますので、2Q以降の売上・利益に反映されてくるとみております。よって当初計画のままとさせて頂きました。今後の動向につきましては毎月開示される月次売上・来店状況をチェック頂ければと思います。
決算短信に減収要因が納期の後ろ倒しと記載されていたが、そういった事象を防止する対策はあるのか。	現在、自社工場のフィリピン一国集中による生産リスクの分散と、今後の業容拡大を見据えた生産能力の増強を目指すべくバングラデシュに新工場を建設中です。新工場の稼働が軌道にのれば、前述の潜在リスクは解消され、オーダーメイドウィッグの供給が安定化し、当社の事業継続力が強化され则认为ております。
株主優待について導入の意図を教えてください。	今回のウェビナーにて説明いたします。
毎年のように猛暑が続いているが、業績への影響はあるのか。	女性のお客様においては、60代以上が主要顧客であるため、猛暑や荒天の影響で来店予定のキャンセルなどの影響はあるかと思われます。
新領域の開発として、M&Aを検討とありましたが、M&Aソーシングは継続的に行われていますか？公開できる範囲で現状についてご教授ください。	具体的に開示できる情報はありますが、現在の中期経営計画における期間中、「美と健康」に係る分野を中心に様々な案件を検討しております。